

(家庭数配布)



「緑地の輪」の準備が進められています！！

P T Aの方からすでにお知らせをしていただいておりますが、今年度は3年ぶりに「緑地の輪」が開催される予定です。これに向けて、緑地の輪委員会の皆様が集まれ、準備を進めていただいております。

せっかくの開催ですので、私もお手伝いをさせていただきたいと、午前と午後、それぞれ30分ほど時間をいただき、〇×クイズとマジックショーを担当することになっています。〇×クイズの中身について詳しくは当日のお楽しみですが、盛り上がること間違いなしです。(自分で言うのも変ですが…)マジックショーは、豊中市健全育成会の副会長さんをお願いしています。副会長さんは、マジックショーで豊中市内の各小学校を回っておられる方で、これも大ウケ間違いありません。その他、緑地の輪委員会では、いくつかのブースを設定し、子どもたちに楽しんでもらおうと企画をしています。

もう2年以上続くコロナ渦ですが、この閉塞感を打ち破っていくような緑地の輪にしていきたいと思っております。ぜひ、お楽しみにしておいてください。保護者の皆様のご協力も、何卒、よろしくお願い申し上げます。

りょくち わ 緑地の輪

◇日時 7月23日(土)

午前(9時~11時)の部 1~3年生

午後(13時~15時)の部 4~6年生

◇場所 体育館と運動場

◇お願い 暑くなりますので、お茶や水を持ってきてね。

同調圧力と自尊心

教育の世界では「自尊心」という言葉がよく使われます。自尊心とは、自分で自分のことを誇らしく思う心、自分への高評価ということです。自尊心を高く持っている、どんなことにも前向きに取り組むことができます。反対に自尊心が低いと不安が先になってしまうので、積極的に取り組もうという意欲がなかなか持てません。さらに、自尊心の低い人は何かと他人の粗(あら)を探し出し、他人との比較による歪(いびつ)な形で自信を持つとする傾向もあります。

日本では、決して他人の前に出ないこと、いわゆる「控えめ」が美德とされます。これに加え「同調圧力」というものがあります。少数派がどうも過ぎづらい、特に強制をされているわけではないが、何となく多数派に合わせないといけないように感じてしまう、というものです。一例として、ここ2年ほどのマスク着用があげられるかもしれませんが、周囲にほとんど人がいない広い公園で、必ずしもマスク着用の必要はないはずなのに、他人の目が気になり、マスクを着けなければと感じてしまう、等です。これは日本人が無意識のうちに身につけてしまっていることだと思えます。

このように、日本では自尊心が育ちにくい環境があります。しかし、私は将来のある子どもたちには自尊心を高く持たせ、自信をもって自分の道を切り拓かせていきたいと思っています。「ぼくは〇〇が得意!」「私は△△なら誰にも負けない!」大いに結構です。子どもたちが自慢をすれば、「おお!素晴らしい!」と認めてあげましょう。自分の頑張りを認めてもらった子どもたちは、さらにやる気を出してくれることでしょう。



土曜参観、ありがとうございました!

今月4日には土曜参観を行いました。多くの保護者の皆様に学校にお越しいただき、子どもたちが頑張っている様子をご覧いただけたかと思えます。また、新型コロナ対策にも保護者の皆様にご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。今年度は、(今のところは)残り2回も感染対策を施しながら授業参観を行う予定です。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。